①市民向けの料理教室を毎月開催②学校を訪問してドイツ文化を紹介③ドイツフェンシング協会会長を迎え中学生と交流④イベントではクイズも出題

のレギュラー番組を持ち、広報ぬまたでもドイツを紹介する「国際交流員ティーネのいいね！ドイツ」を連載し、市民の皆さんからは「ドイツのことがよく分かる」「毎回楽しみ」と好評でした。

日本が大好き

ティーネさんが沼田に来ることになったのは、日本が好きだったから。高校生のときには日本のドラマを見たり、歌を聴いたりしながら、日本語や漢字を覚えました。大学では日本学を専攻。留学中には国内のドイツ企業へインターンシップも経験しています。

国の外国青年招致事業「JETプログラム」を活用し、ティーネさんを市の国際交流員に任用。ティーネさんの沼田の第一印象は「自然が豊かで満喫したい」だったそうです。県内外で行われる研修を受け、市の業務に意欲的に取り組んできました。

沼田を満喫

プライベートも充実し、お気に入りの沼田公園では、散歩やジョギングを楽しみました。スーパーや通っているスポーツジムでは「こんにちは」「広報読んでいますよ」と声を掛けられたり、町内の会合にも招待されたりと、皆からよくしてもらったといいます。

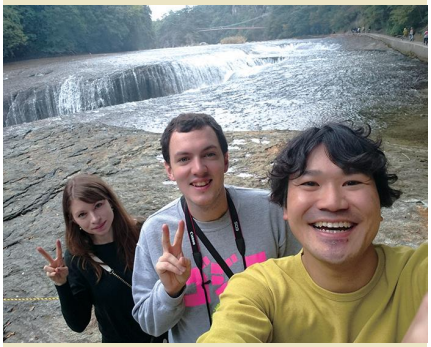
ドイツに住む家族や友人には、沼田の風景や自身の仕事などを写真で送ると喜ばれるので、積極的にSNSでも発信していたとのこと。家族が沼田へ遊びに来た時には、吹割の滝や迦葉山を案内したり、大好きな日本食を味わってもらいました。

コロナ禍での挑戦

今年開催される予定だったオリンピック・パラリンピックが、新型コ

沼田で見つけた

ティーネのお気に入り



吹割の滝

初めて見たとき、滝の幅が広いことにビックリ。滝っていうと、縦に長く水が落ちるものだと思っていたので

天狗プラザの天狗

街中を散歩していたら出会いました。これも大きさに驚き。迦葉山の天狗や沼田まつりの天狗みこしは必見です

日本食

お弁当を持参するので、カボチャやひじきの煮物などを作り置きします。ドイツに帰ったら日本食が恋しくなりそうです